

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2016-208844

(P2016-208844A)

(43) 公開日 平成28年12月15日 (2016. 12. 15)

(51) Int.Cl.

A O 1 B 35/04 (2006.01)

F 1

A O 1 B 35/04

A O 1 B 35/04

E

B

テーマコード (参考)

2 B O 3 4

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2015-92186 (P2015-92186)
 (22) 出願日 平成27年4月28日 (2015. 4. 28)

(71) 出願人 390010836
 小橋工業株式会社
 岡山県岡山市南区中畦684番地
 (74) 代理人 110000408
 特許業務法人高橋・林アンドパートナーズ
 (72) 発明者 河原 文雄
 岡山県岡山市南区中畦684番地 小橋工
 業株式会社内
 Fターム(参考) 2B034 AA03 BA06 BB01 BB02 EA02
 EB06 EB33 JA06

(54) 【発明の名称】 農作業機

(57) 【要約】

【課題】 代かき作業機を昇降させる必要がない場面において、オート装置が代かき作業機を昇降させることを防止する。

【解決手段】 本発明の一実施形態に係る農作業機は、耕耘作業を行うロータリ作業部を回転自在に支持する機体と、機体に設けられ、ロータリ作業部の上部を覆うカバー部と、カバー部の後端部に回転可能に支持されたエプロンと、エプロンの背面に取り付けられた支持部材と、カバー部に取り付けられ、エプロンのロック状態とフリー状態を切り替え可能なエプロン回転制御部と、を備え、エプロン回転制御部は、後端部が支持部材に対し取り付けられたロッド部と、ロッド部の前端部を回転自在に支持し、被係合部を有する第1アーム部と、カバー部に回転自在に支持され、係合部を有する第2アーム部と、第2アーム部を回転させる駆動部とを有し、係合部は、第1アーム部が回転するときに、被係合部の回転を規制するように構成されてもよい。

【選択図】 図1

